

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●天皇賞(春)はキタサンブラックが優勝

5月1日(日)の天皇賞(春)(GⅠ)ではキタサンブラック(牡4歳/栗東・清水久詞厩舎)が優勝、昨秋の菊花賞に続くGⅠ・2勝目をあげました。武豊騎手(栗東・フリー)は2006年のディープインパクト以来10年ぶりの勝利で、天皇賞(春)通算7勝目。同一GⅠ・7勝は、天皇賞(秋)7勝の保田隆芳元騎手に並ぶ最多タイ記録となります。

●太宰啓介騎手がJRA通算500勝を達成

4月30日(土)の3回京都3日・第2レースではランドハイパワーが1着となり、同馬に騎乗した太宰啓介騎手(栗東・フリー)は、現役31人目となるJRA通算500勝(9246戦目)を達成しました。

●スマートボーイ、ブルーコンコルドが死亡

4月30日(土)、北海道新ひだか町のアロースタッドに繋養されていた種牡馬スマートボーイ(牡21歳)が心不全のため死亡しました。同馬は2000年・2001年のアンタレスS(GⅢ)を連覇するなどJRA通算53戦11勝・地方9戦0勝の成績を残して引退。種牡馬としてはユングフラウ賞勝ち馬スターローズ、ニューイヤール勝ち馬ドラゴンウイスキーといった地方競馬の重賞ウイナーを出しています。また5月2日(月)、ブルーコンコルド(牡16歳)が蹄葉炎のため死亡しました。同馬はマイルチャンピオンシップ南部杯(GⅠ/JpnⅠ)を2006年から2008年にかけて3連覇するなどJRA通算31戦7勝・地方19戦8勝の成績を残し、引退後は乗馬として北海道新冠町のハントバレットレーシングファームに繋養されていました。

●ジュエラーが故障

2016年桜花賞(GⅠ)の勝ち馬ジュエラー(牝3歳/栗東・藤岡健一厩舎)は、左第1指骨剥離骨折を発症していることが判明しました。今後3か月以上の休養を要する見込みです。

●JRAブリーズアップセールが開催される

JRA育成馬をセリ方式で売却する「2016 JRAブリーズアップセール」が、4月26日(火)、中山競馬場にて開催されました。上場された72頭(牡36頭・牝36頭)すべてが売却され、総売却価格は7億2058万円(平均価格は牡1094万円・牝907万円)。最高価格をつけたのは、牡馬がウルトラベガサスの14(父ルーラーシップ)で3672万円、牝馬がセイカシリアスの14(父パイロ)で2700万円でした(価格はすべて税込)。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●コパノリッキーがかしわ記念(船橋)2年ぶり2度目の優勝

かしわ記念(JpnⅠ、5月5日、船橋、1600m)は、2番手を追走した3番人気のコパノリッキー(武豊騎手、牡6歳、父ゴールドアリュール)が、直線に入って間もなく逃げたソルテ(大井)を捉えて3馬身突き放し楽勝。ベストウオーリアが3着に入り、2番人気のノンコノユメは4着、サウンドトゥルーは5着、1番人気に推されたモーニンは中団のまま8着に終わっています。

●兵庫チャンピオンシップは逃げたケイティブレイブが圧勝

兵庫チャンピオンシップ(JpnⅡ、3歳、5月4日、園田、1870m)は、先手を取った2番人気のケイティブレイブ(川原正一騎手=兵庫、牡、父アドマイヤマックス)が7馬身差で圧勝。3戦全勝で単勝1.3倍の圧倒的支持を集めたゴールドドリームは、やや出遅れて好位に取り付いたものの2着、グランセブルスは3着、3番人気のレガロは4着、イーストオブザサンは5着でした。

●ノボバカラがかきつばた記念(名古屋)で重賞初制覇

かきつばた記念(JpnⅢ、5月3日、名古屋、1400m)は、5番手から差を詰めた2番人気のノボバカラ(ミルコ・デムーロ騎手、牡4歳、父アドマイヤオーラ)が直線半ばで差し切り勝ち。3番人気のブルドッグボスが2着、レーザーバレットが3着、逃げた1番人気のタガノトネールは4着、スノードラゴンは5着でした。

★海外競馬ニュース 文・石川ワタル★

●チャンピオンズマイル(香港GⅠ)~日本のモーリス強し

香港の国際GⅠチャンピオンズマイル(芝1600m)は5月1日にシヤティン競馬場で行われ、単勝2.15倍の本命に推されたモーリス(牡5歳、父スクリーンヒーロー、美浦・堀宣行厩舎)が4番手からあっさり抜け出し、香港馬コンテンツメントに2馬身の差をつけて快勝しました。良馬場の勝ちタイムは1分34秒08。勝利騎手J.モレイラ。ここは昨年12月の香港マイル以来の出走で、これでGⅠ・4連勝、昨年1月から7連勝で通算14戦9勝です。

●英2000ギニーはガリレオゴールド、1000ギニーは本命馬が圧勝

英2000ギニー(芝・直線1700m)は4月30日にニューマーケット競馬場で争われ、オッズ15倍のガリレオゴールド(牡3歳、父パコボーイ)がマッサートに1馬身½の差をつけて快勝。勝利騎手L.デットーリ、調教師H.パーマー。翌日の英1000ギニーはR.ムーア騎乗の本命馬マインディング(牝3歳)が圧勝し、6戦4勝、GⅠ・3勝目。このレースでA.オブライエン調教師(愛)は3頭出しで3着まで独占、3頭はすべてガリレオの産駒です。